



# 青葉区民 防災必携

～横浜市浸水ハザードマップ～

青葉区民防災必携は、台風や大雨の際の「内水」、「洪水」、「土砂災害」の各危険箇所や、避難情報の内容を記載した横浜市浸水ハザードマップと、大地震が発生した際の避難行動や、自宅の安全対策等について、一つにまとめたものです。  
大地震や風水害による危険を事前に把握し、日ごろからご家族や地域の方と話し合うことでいざという時に備えましょう。

2024年度版

### 広域避難場所

名称
こどもの国
グリーンヒル朝志田西園地一帯
桜台公園地区
桐蔭学園
すすき野団地一帯
たまプラーザ団地一帯
慶応大学グラウンド
かしの木台ハイタワー一帯
川和高校
横浜商科大学一帯
南長津田団地及び森村学園一帯
谷本公園一帯
北八幡公園

### 地域防災拠点一覧

No	地域防災拠点名	所在地	電話番号
①	奈良小学校	青葉区 奈良町1541-2	962-1063
②	奈良の丘小学校	奈良二丁目29-1	962-5391
③	奈良中学校	すみよし36-3	962-2753
④	あかね台小学校	あかね台二丁目8-2	965-5010
⑤	田奈小学校	田奈町51-13	981-0009
⑥	さつきが丘小学校	さつきが丘8	974-1091
⑦	つつしが丘小学校	つつしが丘34	981-7117
⑧	緑が丘小学校	緑が丘29	983-1067
⑨	緑小学校	緑台一丁目4	961-7211
⑩	田田小学校	緑台二丁目36	961-7651
⑪	朝志田小学校	朝志田町532	962-2261
⑫	朝志田第一小学校	朝志田町805-6	962-2750
⑬	鉄小学校	鉄町427	971-4016
⑭	みたけ台小学校	みたけ台18	971-9921
⑮	みたけ台中学校	みたけ台30	971-6431
⑯	青葉台小学校	桜台47	983-1061
⑰	青葉台中学校	青葉台二丁目25-2	983-1062
⑱	もえぎ野小学校	もえぎ野16	973-4044
⑲	藤が丘小学校	藤が丘二丁目30-3	971-4121
⑳	谷本中学校	梅が丘5	973-7108
㉑	谷本小学校	藤が丘一丁目55-10	973-7109
㉒	緑が丘中学校	千歳台50-1	973-5316
㉓	東市ヶ尾小学校	市ヶ尾町519	973-2690
㉔	荏田西小学校	荏田西町丁5-1	911-4481
㉕	荏田小学校	荏田南町694	911-0149
㉖	市ヶ尾中学校	青葉区 市ヶ尾町1632-1	973-5722
㉗	あざみ野第二小学校	あざみ野三丁目29-3	902-4866
㉘	あざみ野第一小学校	あざみ野四丁目6-1	902-7151
㉙	あざみ野中学校	あざみ野一丁目29-1	902-4836
㉚	黒須田小学校	黒須田34-1	972-0755
㉛	鶴山小学校	すすき野一丁目6-4	902-7161
㉜	旧すすき野小学校	すすき野三丁目4-1	901-5896
㉝	荏子田小学校	荏子田三丁目8-9	901-3331
㉞	元石川小学校	美しが丘四丁目31-1	902-1821
㉟	山内小学校	美しが丘五丁目4	901-0030
㊱	新石川小学校	新石川一丁目20-1	911-0003
㊲	美しが丘東小学校	美しが丘二丁目25	901-0931
㊳	美しが丘小学校	美しが丘二丁目29	901-3408
㊴	美しが丘中学校	美しが丘三丁目41-1	901-6758
㊵	美しが丘西小学校	美しが丘二丁目48-1	902-0450



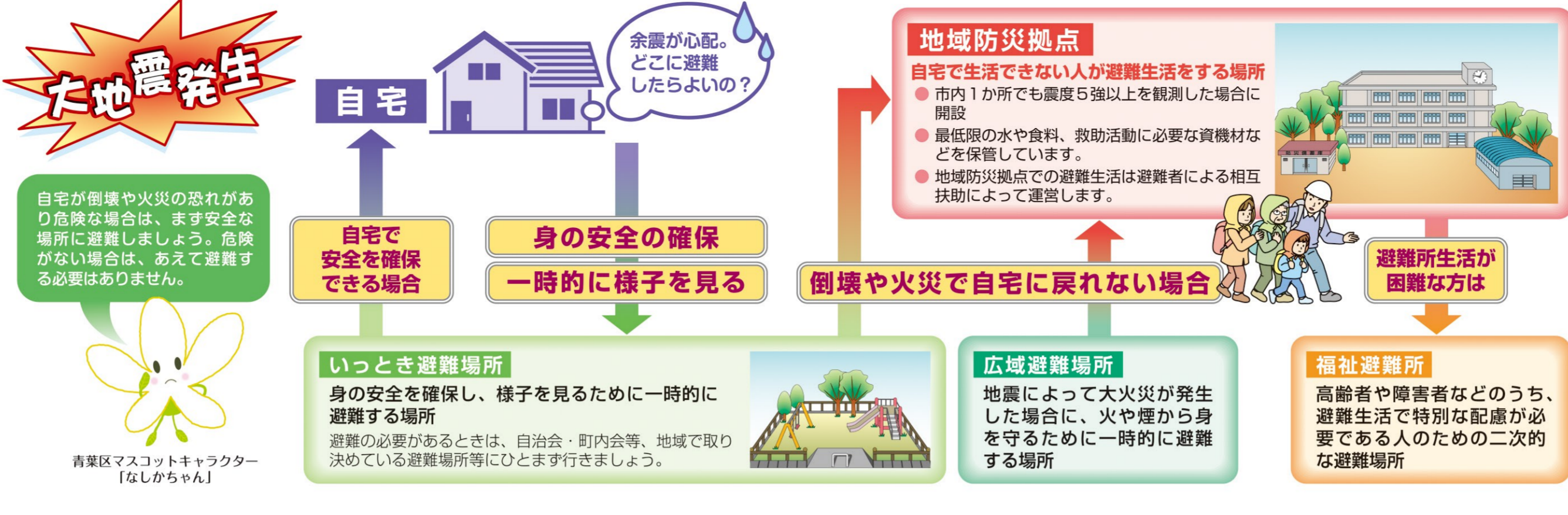
## 青葉区 震災時防災マップ

### 補充的な避難所

名称
朝志田中学校
もえぎ野中学校
市ヶ尾中学校
すすき野中学校
市ヶ尾高校
田奈高校
元石川高校
日本体育大学朝志田キャンパス
山内地区センター
若草台地区センター
大場みずが丘地区センター
奈良地区センター
美しが丘西地区センター
藤が丘地区センター

### 凡例

地域防災拠点 (41カ所)	区役所 (区災害対策本部)	緊急給水栓 (28カ所)
地域防災拠点指定区域	消防署・出張所	耐震給水栓 (5カ所)
広域避難場所 (13カ所)	消防器具置場	災害時下水タンク (10カ所)
補充的な避難所 (14カ所)	警察署・交番	配水池 (1カ所)
被災地域避難拠点 (12カ所)	災害拠点病院 (1カ所)	災害応急用戸
保健所 (1カ所)	災害時協力病院 (7カ所)	かんがい用戸
福祉避難所	その他の病院	雨水タンク (100・40・その他)



## 災害時の情報収集

### 青葉区防災情報専用ダイヤル

地震や台風などの緊急情報や避難所の開設情報などを、音声案内にてお知らせします。災害時に必要な情報をすぐに入手できるので、お問い合わせの際はこの番号をご利用ください。

**TEL 050-3627-5800**

番号を電話帳に登録しておけば、すぐに情報を確認出来るから、いざという時も安心だね!

### 災害用伝言ダイヤル

災害時に被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

### ご利用方法

- \* [17] をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をおこなってください。
- \* 録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っている全ての方が聞かれます。

録音の場合は **1** をダイヤル、再生の場合は **2** をダイヤル

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

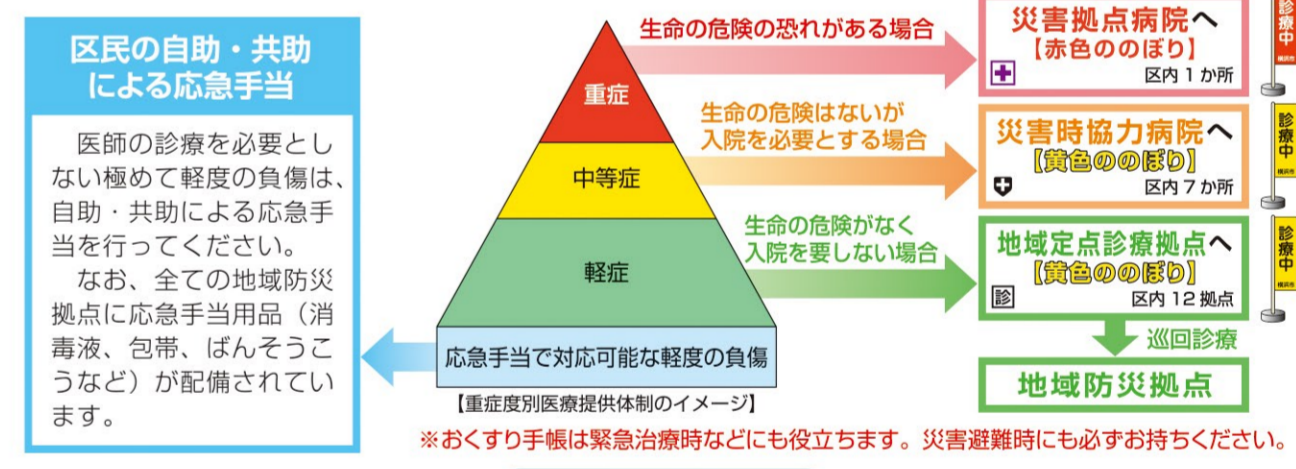
録音 ← **1** をダイヤル → 再生

**9** を入力

### お問合せ先 (平常時)

お問合せ内容	取り扱い部署	電話番号
地域防災・避難等に関する事	青葉区役所総務課	978-2213
人命救助・救急に関する事	青葉消防署	974-0119
道路・下水道・公園に関する事	青葉土木事務所	971-2300
崖に関する事	横浜市建築局建築防災課	671-2948
交通規制に関する事	青葉警察署	972-0110
河川管理区間の河川に関する事	国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所	503-4000
県管理区間の河川に関する事	神奈川県横浜川崎治水事務所	411-2500
市管理区間の河川に関する事	横浜市下水道河川局河川管理課	671-2855
内水 内水に関する事	横浜市下水道河川局マネジメント推進課	671-2838
洪水・高潮ハザードマップ全般について	横浜市総務局危機管理室地域防災課	671-2011
内水ハザードマップ全般について	横浜市下水道河川局マネジメント推進課	671-2838

## 災害時の医療体制



### おあは災害ネット

おあは災害ネットは、災害発生時に一人では避難が困難な高齢者や障害のある人(災害時要援護者)に近隣の助け合いが行えるよう、あらかじめ要援護者の情報を登録し、共有するためのシステムです。登録は地域の担当民生委員にお申込みください。

## 自宅の安全対策

● **わが家を守ろう**…災害時に自宅の生活空間を守るためにも、家の中の安全対策は不可欠です。家の中を点検し、必要な対策をしましょう。

**扉・戸締り** 扉が閉って家具等が飛び出ないように、留め具等を取りつける。

**家具** 大きな家具は倒れてこないように、家具転倒防止器具でしっかりと固定する。

**窓ガラス** ガラスに飛散防止フィルムを貼る。

**テレビ** テレビや台をしっかりと固定する。

**在宅避難とは**

地域防災拠点(指定避難所)は、家屋倒壊等で自宅での生活することが困難な方が避難生活をする場所です。そのため、自宅が無事だった方は、避難所には行かずそのまま自宅での生活(在宅避難)をします。

避難所では災害発生直後、プライベートな空間を確保することが難しく、環境の違いによって非常にストレスのたまる生活をしなければなりません。そのため、自宅ですっきり備蓄することや、家の中の安全性を高めることで、在宅避難をできるようにすることが大切です。

※ただし区役所からの様々な情報や食料などは、地域防災拠点に届けられるので、これらは「地域防災拠点の避難者」と「在宅避難者」で共有します。

# 横浜市 浸水ハザードマップ (青葉区)

保存版

## 浸水ハザードマップの使い方

**スタート** 「1 情報の入手方法と日頃からの備え」をご覧ください  
浸水想定区域以外の方も、日頃から浸水に備えておくことが重要です。

あなたのお住まいや職場で浸水が発生するおそれがありますか？  
「内水ハザードマップ」(下水道や水路からの浸水)  
「洪水ハザードマップ」(河川氾濫による浸水)の、浸水想定区域を確認しましょう。

「内水ハザードマップ」「洪水ハザードマップ」の浸水想定区域となっている方  
⇒「2 内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について」をご覧ください。

**マイ・タイムラインを作成しよう**  
マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画です。



横浜市 2024年度版

## 1 情報の入手方法と日頃からの備え

ハザードマップを使って、お住まいの地域の危険度を把握し、適切なタイミングで避難行動を起こせるよう、日頃から情報収集をしましょう。

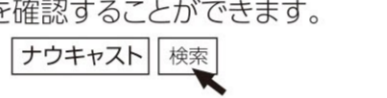
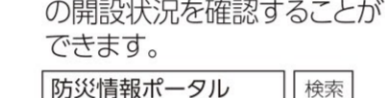
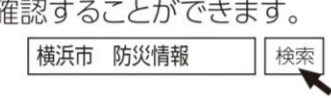
### 自動配信されるもの(PUSH型)

- 横浜市避難ナビ 要事前登録  
マイ・タイムラインの作成から避難所検索、災害時の避難情報の受信などができます。
- 横浜市防災情報Eメール 要事前登録  
あらかじめ登録したパソコン・携帯電話に防災情報等が配信されます。
- 防災アプリ 要事前登録  
「Yahoo! 防災速報」アプリをインストールしていただくことで、横浜市からの防災情報等をスマートフォン等で受信できます。
- ファックス  
聴覚障害者の方の自宅(要事前登録)、洪水浸水想定区域内の要援護者施設等の事業所に配信します。
- 緊急速報メール  
緊急速報メールに対応した携帯電話に配信されます。
- 親水拠点警報装置(設置のない区もあります)  
屋外スピーカーからの音声放送やサイレンにより、災害発生時の危険性や避難情報等をお知らせします。
- 緊急警報放送  
テレビ・ラジオ等から警報音を発し、重要かつ緊急な災害情報を放送します。
- 広報車等による広報  
状況に応じて、必要な地域へ広報車が出勤します。また、職員を派遣したり、消防局ヘリコプターを出勤させることもあります。



### 自身で情報収集するもの(PULL型)

- ホームページ  
横浜市 防災情報  
気象警報や河川の水位、潮位等を確認することができます。
- 防災情報ポータル  
避難指示の状況及び避難所の開設状況を確認することができます。
- 降水ナウキャスト  
現在の雨雲の動きや今後の動きを確認することができます。
- 横浜市トップページ(緊急情報)
- X(旧Twitter)@yokohama\_saihai(横浜市総務局危機管理室)
- テレビ(ケーブルテレビ、データ放送など) ●ケーブルテレビ ●データ放送 ●データ放送
- tvk(テレビ神奈川)データ放送 ●ラジオ(コミュニティFMなど) ●コミュニティFM放送



## ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう

- 自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。
- 自宅から避難場所までの複数の道順や方向を、ハザードマップに書き込みましょう。
- なお、災害の状況により、開設する避難場所は異なります(ハザードマップ参照)。避難する際は、市・区ホームページ等で開設している避難場所を確認してください。
- 地域では、このハザードマップを活用した訓練を行い、災害時の適切な行動につなげましょう。



## 避難時の持ち出し品を確認しよう

- 避難時の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 持ち出し品はできるだけ少なくしましょう(ラジオ、飲料水、懐中電灯、医薬品、ベビー用品、マスクなど)。また、リュックサックなど、両手があくものに収まる程度にしましょう。
- 避難場所には食料、水、タオルなど、必要なものを持参しましょう。



## 側溝や雨水ますを点検しよう

- 側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう。
- 雨水ますの吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路浸水などの原因になります。
- 雨水ますやL型側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。



## 浸水に備えよう

- 家にあるもので浸水を防ぎましょう。土のうやプランター、家庭にあるごみ収集袋などを利用して水のうなどを使って浸水を防ぐことができます。
- 大雨の際には、洗濯機、トイレ、風呂場の排水口など思わぬところから下水が逆流することがあります。排水口を水のうなどでふさぎましょう。



## 家庭でできる浸水防止対策の一例

●ごみ収集袋(45リットル)を二重にし、中に半分くらい水を入れ、水のうを作ります。

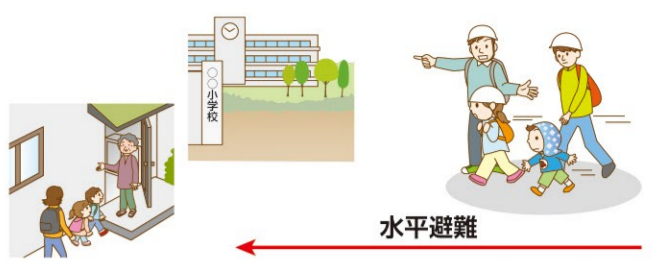
●水のうと長めの板などを組み合わせ、浸水を防ぎます。

●水のうは段ボール箱に詰めることで、強度が増します。

●プランターをならべ、レジャーシートで包み浸水を防ぎます。

## 避難の考え方

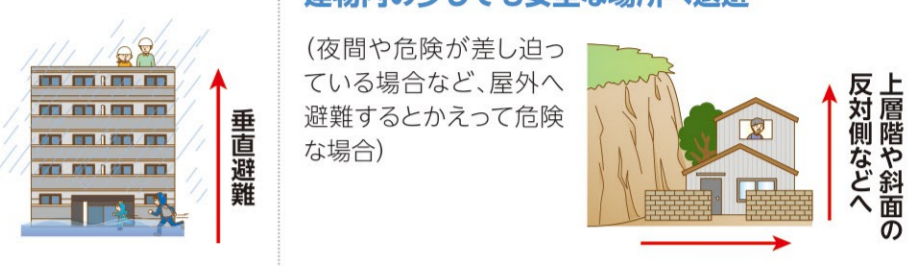
●身の危険を感じる場合は避難を開始してください。  
安全な場所へ避難(水平避難)  
(避難場所<sup>※</sup>、近くの高台、土砂災害警戒区域外及び浸水想定区域外の親戚の家など)  
※すべての避難場所を開設するわけではありません。(ハザードマップ参照) 避難する前にどの避難場所が開設されているか、市・区ホームページ等で確認してください。



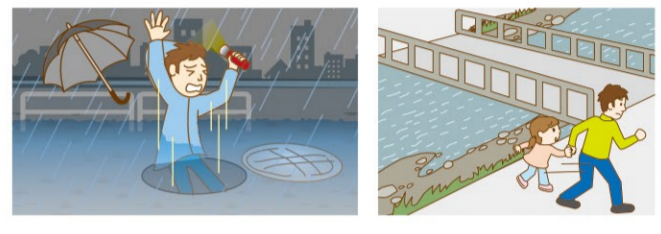
隣近所へ声をかけ合おう  
ご高齢の方、子ども、障害のある方などは避難に時間を要するため、早めの避難が必要です。地域の皆さんで協力して安全に避難しましょう。



頑丈な建物の2階以上または、近隣の高い建物へ避難(垂直避難)  
(夜間や危険が差し迫っている場合など、屋外へ避難するとかえって危険な場合)  
浸水深が浅くても水の流れによっては歩行が困難となります。無理をして屋外へ避難せず、高所へ垂直避難をしましょう。



安全な経路で避難しよう  
河川沿いや急傾斜地(崖)沿いの道は避けて避難しましょう。大雨により、側溝やマンホールの蓋が外れている場合があるので、転落しないよう十分に注意して、近寄らないようにしましょう。



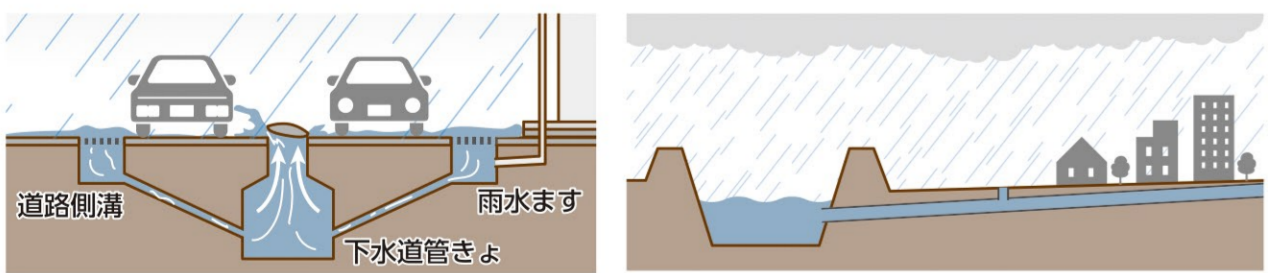
地下街・地下施設の浸水は危険です  
浸水の危険性があると感じたときは、速やかに地上階に避難しましょう。



## 2 内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について



宅地に降った雨は雨水ますへ、道路に降った雨は道路側溝などに集まり、下水道や水路等を通して河川に排水されます。



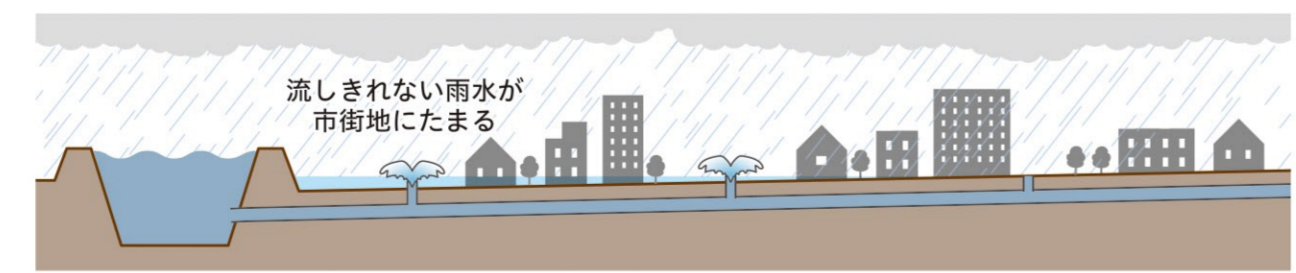
**大雨のときはこんな点に注意しよう**  
集中豪雨に注意しよう 突発的かつ局所的な集中豪雨に備えて、ふだんから雨の様子をチェックしておきましょう。

<b>やや強い雨</b> 1時間に10~20%の雨 地面からのぬれぬれで 足元がぬる。長く続く ときは注意が必要。	<b>強い雨</b> 1時間に20~30%の雨 傘をさしていてもぬれて しまふほどの土砂降り。 側溝や下水道があふれる。	<b>激しい雨</b> 1時間に30~50%の雨 傘をさしていてもぬれて しまふほどの土砂降り。 道路が川のようになる。	<b>非常に激しい雨</b> 1時間に50~80%の雨 滝のような雨。 水がきであたり一面が 白っぽくなり、視界が悪くなる。	<b>猛烈な雨</b> 1時間に80%以上の雨 息が詰るような圧迫感がある。 大規模な災害が発生するおそれ が強く、激しい備えが必要。
---	--	--	--	---

## 内水氾濫の発生



内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。



**内水ハザードマップとは?**  
内水氾濫によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップです。また、この内水ハザードマップは、河川の堤防を越えて水があふれることも表現していますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水ハザードマップも併せてご覧ください。  
横浜市では1時間あたりの雨量が50mm~60mmに対応する下水道整備を進めています。内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、市民の皆様の日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。

想定降雨 1時間で153mmの降雨

## 洪水(河川氾濫)の発生



洪水(河川氾濫)とは、大雨によって河川などの水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こします。



**洪水ハザードマップとは?**  
洪水(河川氾濫)によって想定される浸水区域や浸水深などの情報をまとめたマップで、浸水が想定される区域の皆様に速やかに避難していただくために作成したものです。  
河川上流域にのみ雨が降っている場合など、雨の降り方によっては、内水氾濫より前に洪水(河川氾濫)が発生することもありますので、気象情報や河川水位にご注意ください。

想定降雨 鶴見川水系: 2日間で792mmの降雨

## 避難情報がでたら

●身の危険を感じる場合は避難を開始してください。  
(1)情報の入手方法と日頃からの備えの「避難の考え方」もお読みください。

警戒レベル	発表時刻	とるべき行動	避難情報(横浜市)	気象情報(気象庁) 水位情報(神奈川県) 【警戒レベル相当情報】
警戒レベル5	緊急安全確保	【命の危険 直ちに安全確保!】 ●災害が発生・切迫しており、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保	大雨特別警報等 氾濫発生情報
警戒レベル4	避難指示	【危険な場所から全員避難】 ●直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難する。	避難指示	土砂災害警戒情報等 氾濫危険情報
警戒レベル3	高齢者等避難	【危険な場所から高齢者等は避難】 ●避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は、安全な場所へ避難を開始する。 ●その他の人は、家族などと連絡、持ち出し品の用意など、避難の準備を開始するとともに、危険だと思ったら早めに避難する。	高齢者等避難	大雨警報(土砂災害) 氾濫警戒情報 洪水警報等
警戒レベル2	自らの避難行動の確認	【自らの避難行動の確認】 ●避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認する。 ●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。	—	大雨、洪水注意情報 氾濫注意情報
警戒レベル1	災害への心構えを高める	【災害への心構えを高める】 ●防災気象情報等の最新情報に注意する。	—	早期注意情報

※警報等が解除されても、河川の水位情報等には注意してください。